

指標 3.9.3

指標名、ターゲット及びゴール

指標 3.9.3 意図的ではない汚染による死亡率

ターゲット 3.9 2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

ゴール 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

定義及び根拠

○ 定義

年間の「意図的ではない汚染」と定義されている死亡数を日本人人口で除したものであり、人口10万人当たりで表される。

○ 概念

「意図的でない汚染による死亡」とは、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改訂（ICD-10）」のコードX40、X43-X44及びX46-X49に該当する「有害物質へのばく露による偶発的感染」に分類されるものにより死亡した者である。

○ 根拠及び解釈

人口動態調査は、各自治体に提出された死亡届を元に死亡票を作成し、死亡票に記載されている死因や状況の記載により原死因を特定している。その原死因から「意図的でない汚染による死亡」と特定されたものを年間で積み上げたものが「意図的でない汚染による死亡」数としている。

データソース及び収集方法

人口動態統計

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

意図的でない汚染による死亡（ICD-10コードX40、X43-X44及びX46-X49の合計）率＝

年間の意図的でない汚染による死亡（ICD-10コードX40、X43-X44及びX46-X49の合計）数／年間の日本人人口×100,000

○ コメントと限界

人口動態統計では「意図的ではない汚染による死亡」という項目での統計は取っておらず、コード別に死亡数のみ算出している。

SDGs の定義では、該当 ICD-10 コードを全て足し上げた数値を「意図的ではない汚染による死亡」としている為、これらに該当する有害物質による不慮の中毒及び曝露による死亡を算出した。

データの詳細集計

年齢階級（5 歳階級）別に算出は可能であるが、膨大なデータファイルとなるため、総数データを掲載する。

参考

人口動態統計

データ提供府省

厚生労働省

関連政策府省

厚生労働省

農林水産省

環境省

担当国際機関

世界保健機関（WHO）